

稲垣武 いづみ たけ 評論家。昭和九年十一月埼玉縣生れ、(平成)二十二年八月五日没(一九三一年二〇〇)。京都大學文學部西洋史學科卒。(二十五年朝日新聞社入社。福井、神戸、大阪勤務を経て、四十七年『週刊朝日』編輯部員、次々ついで編輯部長。その後出版局プロジエクター室長等、調査研究所室主任。平成元年退社。

在社中から朝日の偏向報道を危惧、その内部への體驗を『朝日新聞血風録』(平成二年十一月)二十五日(文藝春秋)として著した。また個人名を擧げて「進歩的文化人の言動と徹底的に論證した『悪魔祓い』の戦後史―進歩的文化人の言論と責任」(平成六年八月十五日(文藝春秋))と山本七平賞受賞。

